事例No.	2421
公表年度	R5
団体の属性	その他
団体名	ヨロンまちづくり協同組合

事例区分	地域活性化

タグ	・移住定住 ・人材確保・育成 ・地域運営組織

事例種類	人材確保・育成

事例内容・タイトル

ヨロンまちづくり協同組合
鹿児島県最南端のヨロン島で
離島ライフを楽しみながら地域を活性化！

出典

特定地域づくり事業協同組合事例集

事　例　**ヨロンまちづくり協同組合**

鹿児島県最南端のヨロン島で 離島ライフを楽しみながら地域を活性化!

鹿児島県 与論町

活用のきっかけ・期待すること

▶人口減少や産業の担い手不足など課題が山積する与論町に危機感を感じ、「島を元気にしたい」という想いから、現理事長が中心となり人材不足に悩む地域の事業所に呼びかけ、趣旨に賛同した７事業所が発足メンバーとして集い、設立を目指した。

▶地域で働くなかで地域の魅力や課題等を体感し、地域での暮らしを楽しんでいただくとともに、地域と自分自身がより良くなれるよう、将来的には組合員事業者や地域事業者への雇用、地域での起業など、地域づくり人材として活躍することを期待している。

取組内容

▶移住者等を雇用し、地域の事業者へ派遣

地域の農業、各種商品小売業、宿泊業、社会保険・社会福祉・介護事業、こども園、スポーツ施設管理など9の事業者の仕事を組合せ、年間通じた安定した仕事を創出。

これまでに組合で雇用した11名（全員が移住者）の職員を各事業者に派遣（マルチワーク）することで、移住・定住を促進し、地域づくりや地域産業の担い手の確保・育成を目指している。

地域の活性化

▶組合員や地域の人と交流し、地域を知り、楽しむ

組合員や派遣職員の懇談会等を定期的に設け、交流を深めながら相互の情報共有を図るとともに、組合の研修の一環として地域の伝統工芸品づくりを行うなど、地域を知る活動も行っている。

また、派遣職員が独自で夏祭りや町のイベント、集落行事等に参加しており、地域住民との交流やイベント参加を通じて、地域の活性化に繋がっている。

マルチワークのイメージ

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
職員A	こども園・公共スポーツ施設									農業（さとうきび）		
職員B	小売業（総合スーパー）									農業（さとうきび）		
職員C	小売業（総合スーパー）									こども園・公共スポーツ施設		
職員D	社会保険・社会福祉・介護事業（老人福祉・介護事業）									農業（さとうきび）		

組合に関わる皆さんの声

▶組合員(サトウキビ収穫農家)

意欲ある方に移住をいただいており、地域に元気がでているように感じる。なにより職員の方々が地域に溶け込み、島を楽しんでいただいていることがありがたい。また、島を盛り上げるためにチャレンジしたいという想いを持つ方も多く、地域にとって大きな力になると感じている。



▶派遣職員（30代神奈川県から移住）

スーパーや介護施設、農業や保育施設など様々な業種に従事。地域の様々な職業を経験できるほか、地域の方々との交流も楽しく、自然豊かな島で働くことができ、都会では味わえない充実感がある。



